

令和6年度沖縄域外競争力強化促進事業費補助金の成果概要

事業実施主体	株式会社 琉SOK
プロジェクト名	従来型クランプ式超音波流量計のコストダウンのための新製品開発
事業内容	幅広い口径で製品展開をしていた従来品を売れ筋の口径に集約し、電気回路を新たに設計する。同時に本体のボタンで行っていた設定操作等をスマートフォンで出来るように変更し、コストダウンだけでなく操作性や利便性も向上させた新製品の開発を行った。
今後の計画	令和7年度：(当初)国内向け 1,904台、76,160千円 (現状)出荷見込みゼロ・理由は後記 令和8年度：国内向け 2,380台、95,200千円 令和9年度：国内向け 3,570台、142,800千円
最終目標と現状	最終目標) 令和11年度に、国内向け 5,236台（売上金額209,440千円） 現状) 令和7年度は追加仕様の開発を行っており、出荷実績はない。
補助事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業内容 ・ 売れ筋口径へ選択集中を実施して行う大幅な新設計により、市場ニーズに応えた新製品が完成した。 ・ センサ構造部(管口径)の改良併せて新たに専用の電気回路を設計し使用部品の見直しをしたことにより、各種設定時の操作性が画期的に向上した。 ・ 無線通信を利用しスマートフォンのアプリを利用した遠隔操作を可能としたことで、従来品では流量計本体上にあった「表示部」が不要となっただけでなく従来複雑だった設定ボタンによる操作性も大幅に改善された。 以上、フルモデルチェンジに匹敵する大幅な設計・仕様変更によりコストダウンだけでなく、圧倒的な操作性、利便性の向上を実現させた新製品が誕生した。 ・ 追加機能の新規開発中 <p><理由> 開発要求元より市場要求によりマッチさせるための追加仕様・機能要求があり、今年度はその開発に取り組んでいる。客先評価は2025年11月を予定。</p>

写真・図

構想図

